



Hewlett Packard
Enterprise

プリインストールオペレーティングシステム ソフトウェア ユーザーガイド

Microsoft® Windows Server 2012 FoundationおよびMicrosoft® Windows Server 2012 R2 Foundation用

摘要

このガイドはサーバーおよびストレージシステムのインストール、管理、トラブルシューティングの担当者を対象とし、コンピューター機器の保守の資格があり、高電圧製品の危険性について理解していることを前提としています。

部品番号 : 575051-195
2016年3月
第5版

© Copyright 2009, 2016 Hewlett Packard Enterprise Development LP

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

他社のWebサイトへのリンクは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterpriseは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト以外にある情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterpriseから使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211および12.212に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで米国政府に使用許諾が付与されます。

Microsoft®、Windows®、およびWindows Server®は、Microsoft Corporationの商標です。Intel®、Pentium®、およびItanium®はインテルコーポレーションまたはその子会社のアメリカ合衆国およびその他の国における商標または登録商標です。UNIX®は、The Open Groupの登録商標です。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

目次

概要	4
はじめに	4
特長	4
情報の収集	6
出所に関する証明書	6
インストール	7
オペレーティングシステムのインストール前に	7
オペレーティングシステムのインストール	7
Windows Server 2012 Foundation/Windows Server 2012 R2 Foundationオペレーティングシステム	7
署名済みドライバ	17
新しいハードウェアの検出ウィザード	18
自動設定	18
インストール後の作業	20
Microsoft Windows Server 2012 FoundationおよびMicrosoft Windows Server 2012 R2 Foundation	20
Windows Server 2012 FoundationおよびWindows Server 2012 R2 Foundationの管理者パスワードの変更	20
Windows Server 2012 Foundation/Windows Server 2012 R2 Foundationの地域設定の変更	21
Windows Server 2012 Foundation/Windows Server 2012 R2 Foundation用のMicrosoftインターネットインフォメーションサービス (IIS) のインストール	21
Integrated Lights-Out (iLO) 管理機能のインストール	22
ディスクドライブの設定	22
追加のページファイルの作成	23
テープドライブのインストール	23
イベントログエラー	24
サーバーのバックアップ	24
ネットワークプロトコルの設定	24
Microsoft Windows Server 2012 Foundation/Microsoft Windows Server 2012 R2 Foundationのリモートアクセスサーバーのセットアップ	24
Java Virtual Machineのインストール	25
BitLockerドライブ暗号化の有効化	25
VMware仮想マシンでのインストール	26
インストール後の作業 (HPE ProLiantサーバーのみ)	27
Webベースマネジメントユーティリティ (HPE System Management Homepage)	27
HPEマネジメントエージェントのインストール	27
ネットワークチャージングおよび設定ユーティリティのインストール	27
HP Smart Update Manager (HP SUM) の使用	27
アレイコントローラーの設定	28
マネジメントエージェントの使用	28
トラブルシューティング	29
オペレーティングシステムの再インストール	29
サポートと他のリソース	30
ご連絡の前にご用意いただく情報	30
Hewlett Packard Enterpriseの連絡先	30
カスタマーセルフリペア	30
Hewlett Packard Enterpriseカスタマーサポート	31
頭字語と略語	32

概要

はじめに



重要：ご使用のサーバーにオペレーティングシステムがプリインストールされている場合は、初めてサーバーの電源を入れるときにHPE SmartStart DVD/Service Pack for ProLiant、またはHPE Intelligent Provisioningから起動しないでください。SmartStart DVDまたはIntelligent Provisioningは、オペレーティングシステムを再インストールするときのみ使用してください。



重要：オペレーティングシステムのインストールを完了してから追加のハードウェアオプションをインストールしてください。

このガイドでは、次のプリインストールオペレーティングシステムのインストールを完了するための手順を示します。

- Microsoft Windows Server 2012 FoundationおよびMicrosoft Windows Server 2012 R2 Foundationオペレーティングシステム。

Microsoft Windows Server 2012 FoundationおよびMicrosoft Windows Server 2012 R2 Foundationオペレーティングシステムの最新ユーザーガイドは、Hewlett Packard Enterprise Information Library (<http://www.hpe.com/info/windows/documentation>) からダウンロードできます。

特長

オペレーティングシステムは、サーバーの出荷前に、サーバーのディスクドライブにあらかじめロードされています。また、最新ドライバーもサーバーのディスクドライブにダウンロードされ、あらかじめロードされたオペレーティングシステムに統合されています。

サーバーのオペレーティングシステムの通常のインストールプロセスは、サーバーにあらかじめロードされているため短縮されます。インストール時間は約30分ですが、DVDによる平均的なインストール時間では90分にもなりません。目的の言語、管理者パスワード、オペレーティングシステムのパーティションサイズといったユーザー固有情報は、インストールプロセス中に入力する必要があります。

Microsoft Windows Server 2012 FoundationおよびMicrosoft Windows Server 2012 R2 Foundationオペレーティングシステム用プリインストールソフトウェアには、次のような特長があります。

- すぐに実行できます。セットアップウィザードの指示に従ってHewlett Packard Enterprise独自のコンポーネントをインストールし、可能な範囲で設定します。必要なオペレーティングシステムの再起動が数回行われた後に、Microsoft Windows Server 2012 FoundationまたはMicrosoft Windows Server 2012 R2 Foundationのインストールが完了し、必要なユーザー設定を実行できます。
- ネットワークプロトコルのTCP/IPを設定済みです。これらのサービスは、効果的なネットワーク管理に必要です。このサービスによって、サーバー用のHewlett Packard Enterprise ManagementエージェントがHPE Systems Insight Managerと通信できます。HPE ProLiant Gen8サーバーおよびそれ以降の製品、Agentless Management Service (AMS)、およびWbem Providerは、デフォルトでインストールされています。

AMSについて詳しくは、『Systems Insight Manager 7.0 and HPE Agentless Management overview』(<http://www.hpe.com/info/SIM70-AgentlessMgmt-Overview> (英語)) を参照してください。

Wbem Providerについて詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト (<http://www.hpe.com/info/insight-wbem-manuals>) を参照してください。

- オペレーティングシステムアクティベーション。Hewlett Packard Enterpriseから直接購入した場合、その製品はアクティベーション済みです。Hewlett Packard Enterpriseがオペレーティングシステムをアクティベーションしているので、お客様がアクティベーションを行う必要はありません。お近くのHPE製品販売店でこの製品を購入した場合は、Microsoftに直接電話で連絡して、インストールから60日以内にオンラインで製品のアク

ティベーションを完了する必要があります。オペレーティングシステムのインストール時には、アクティベーション手順に従ってください。使用開始または猶予延長については、Microsoft® サポート技術情報の記事、または『Microsoft OEMライセンス—Windows Serverに関するHPE FAQ』（<http://www8.hp.com/h20195/v2/GetPDF.aspx/4AA4-3787JPN.pdf>）を参照してください。

- サーバー用のマネジメントエージェントをインストールして、サーバーを即座に管理できます。マネジメントエージェントは、サーバーの性能と設定およびオペレーティングシステムの性能を監視します。マネジメントエージェントは、障害発生時に発行するアラートによりユーザーに影響がおよぶ前に問題の発生を防ぎます。
- NTFSを設定済みです。Microsoft Windows Server 2012 FoundationおよびMicrosoft Windows Server 2012 R2 Foundationオペレーティングシステムの多くの新機能では、Microsoft Active Directoryを使用してサーバーをドメインコントローラーにする場合などに、NTFSが必要です。また、NTFSは優れたセキュリティ機能を提供します。サーバーを正しく設定し、ネットワークインフラストラクチャ内でMicrosoft Windows NTの旧バージョンと併用して、Microsoft Windows Server 2012 FoundationおよびMicrosoft Windows Server 2012 R2 FoundationオペレーティングシステムでNTFSを使用する方法についてはこれらのオペレーティングシステムのドキュメントを参照してください。

Microsoft Windows Server 2012 Foundation、およびMicrosoft Windows Server 2012 R2 Foundationオペレーティングシステムについて詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト（<http://www.hpe.com/info/ossupport>（英語））またはMicrosoft社のWebサイト（<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/bb625087.aspx>）を参照してください。

情報の収集

出所に関する証明書



重要：COAラベルがサーバーのどこに貼付されているかを確認し、後で参照できるようにプロダクトキーを記録しておいてください。

COAラベルは、次の目的に使用されます。

- ライセンスを確認し、Microsoft®アップグレードプログラムを使用して、プリインストールオペレーティングシステムをアップグレードします。
- オペレーティングシステムに回復不能な障害が発生したときに、オペレーティングシステムを再インストールします。

COAラベルの貼付位置は、サーバーのモデルによって異なります。ラックマウント型サーバーモデルでは、COAラベルは、右側のサイドパネルの前部またはトップパネルの前面側の右隅にあります。タワー型モデルでは、COAラベルは、サーバーのトップパネルの後部にあります。

注：ここに示すプロダクトキーは一般的な例であり、実際に購入された製品のプロダクトキーと異なる場合があります。



COA END ITEM: Windows Svr Standard ROK 2012 R2 x64 English ORY OEI 2CPU/2VM
製品ファミリ名: Windows Server 2012 R2

注：プロダクトキーは、工場出荷時にサーバーにすでにインストールされているため、オペレーティングシステムを最初にインストールする際には不要です。

サーバーを最初にインストールし、COAラベルを簡単に確認できるときに、次の欄にプロダクトキーを記録しておいてください。

ご使用のサーバーの製品ID番号

HPE ProLiantサーバー上のWindows Server®オペレーティングシステム製品のライセンスについて詳しくは、『ProLiantサーバー上のWindows Server OEM製品のライセンスに関するFAQ』（<http://www8.hp.com/h20195/v2/GetPDF.aspx/4AA4-3787JPN.pdf>）を参照してください。

インストール

オペレーティングシステムのインストール前に



重要: サーバーのユーザーガイドの説明に従ってサーバーのハードウェアを接続してから、サーバーの電源を入れて、オペレーティングシステムソフトウェアを設定してください。ソフトウェアのインストールが完了するまで、追加のハードウェアデバイスを取り付けしないでください。



重要: Microsoft Windows Server 2012 FoundationおよびMicrosoft Windows Server 2012 R2 Foundationでは、ユーザーアカウント数は15までであり、Active Directory (AD) の設定が必要です。製品ドキュメントに従って設定しないと、設定の訂正を求める警告が表示されます。一定期間後、設定が訂正されるまで、ソフトウェアは一度に1時間しか動作しません。これらの機能について詳しくは、Microsoft社のWebサイト <http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/bb625087.aspx>にある製品ドキュメントを参照してください。



重要: Hewlett Packard Enterpriseのドライバーファイルのパスを指定するように要求されたら、C:\Driversを指定してください。ドライバーファイルは、このパスのサブディレクトリにあります。ディレクトリを確認するには、**[参照]**をクリックしてください。



重要: BIOSベースのサーバーの場合、Microsoft Windows Server 2012 FoundationおよびMicrosoft Windows Server 2012 R2 Foundationオペレーティングシステムは、3~4つのパーティション（それぞれ、1 GB、20 GB、および4 GB）に分かれています。1 GBパーティションはシステム専用であり、非表示になっています。この1 GBのシステムパーティションを削除したり、フォーマットしたりしないでください。3番目のパーティションはインストールのために作成され、オペレーティングシステムの最初のセットアップ時に自動的に削除されます。

UEFIベースのサーバーの場合、Microsoft Windows Server 2012 FoundationおよびMicrosoft Windows Server 2012 R2 Foundationオペレーティングシステムは、5つのパーティション（それぞれ、300 MB、1 GB、128 MB、20 GB、および4 GB）に分かれています。リカバリパーティションの300 MB、EFIパーティションの1 GB、MSRパーティションの128 MBは、システム専用であり、非表示です。これらのシステムパーティションを削除したり、フォーマットしたりしないでください。5番目のパーティションはインストールのために作成され、オペレーティングシステムの最初のセットアップ時に自動的に削除されます。



重要: ソフトウェアのインストールを正常に完了するため、TCP/IPサービスをインストールし、サーバーをアクティブなネットワークに接続する必要があります。

オペレーティングシステムのインストール


Windows Server 2012 Foundation/Windows Server 2012 R2 Foundation オペレーティングシステム

Windows Server 2012 Foundation/Windows Server 2012 R2 Foundationオペレーティングシステムをインストールするには、以下の手順に従ってください。



注：以下のスクリーンショットは一般的な表示であり、ご使用のサーバーにインストールされている特定のオペレーティングシステムの表示とは異なる場合があります。

1. サーバーの電源を入れます。

[地域の設定]ページの下で、優先する言語の選択を求められます。ご使用のオペレーティングシステムが多言語対応の場合、適切な言語を選択し、[続行]をクリックします。


 **Hewlett Packard Enterprise**

ProLiant DL180 Gen9

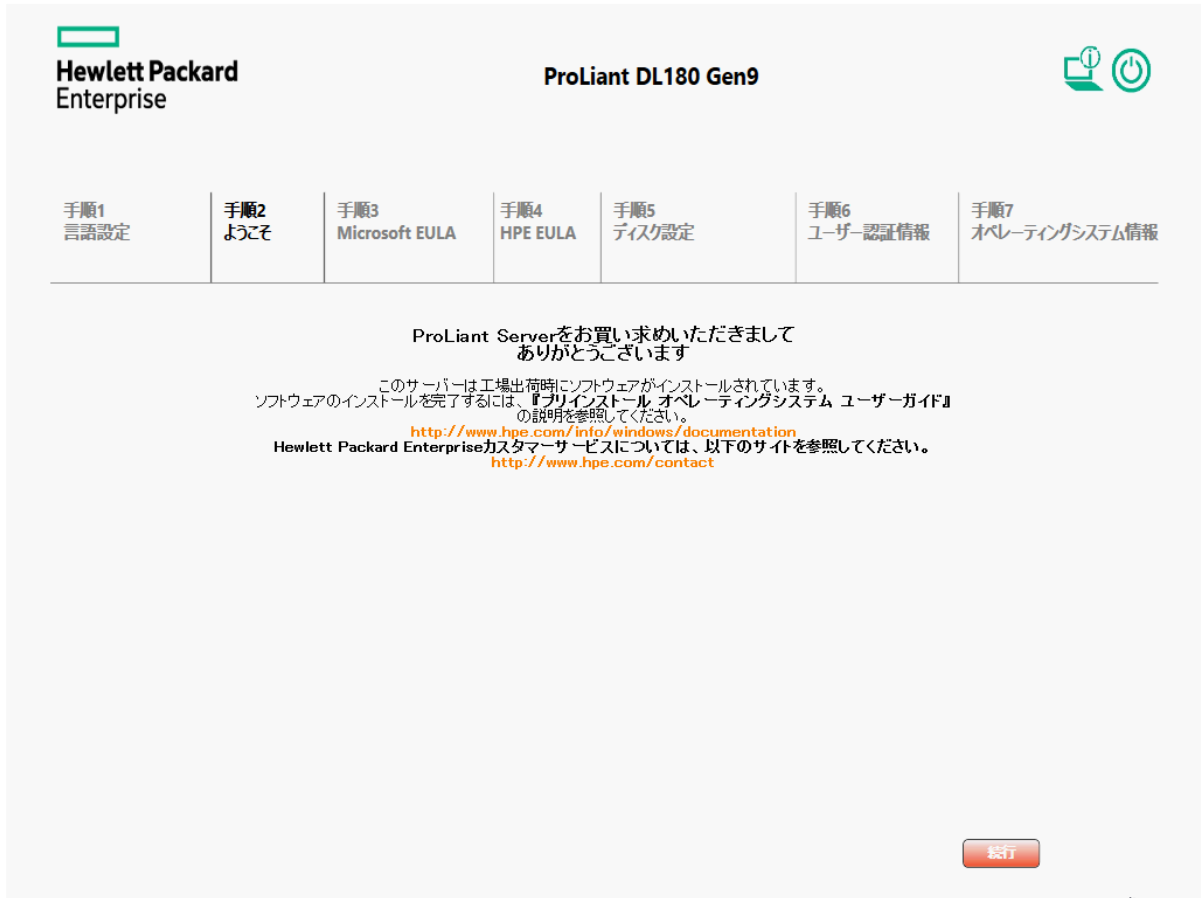
手順1 言語設定	手順2 ようこそ	手順3 Microsoft EULA	手順4 HPE EULA	手順5 ディスク設定	手順6 ユーザー認証情報	手順7 オペレーティングシステム情報
-------------	-------------	-----------------------	-----------------	---------------	-----------------	-----------------------

言語の選択

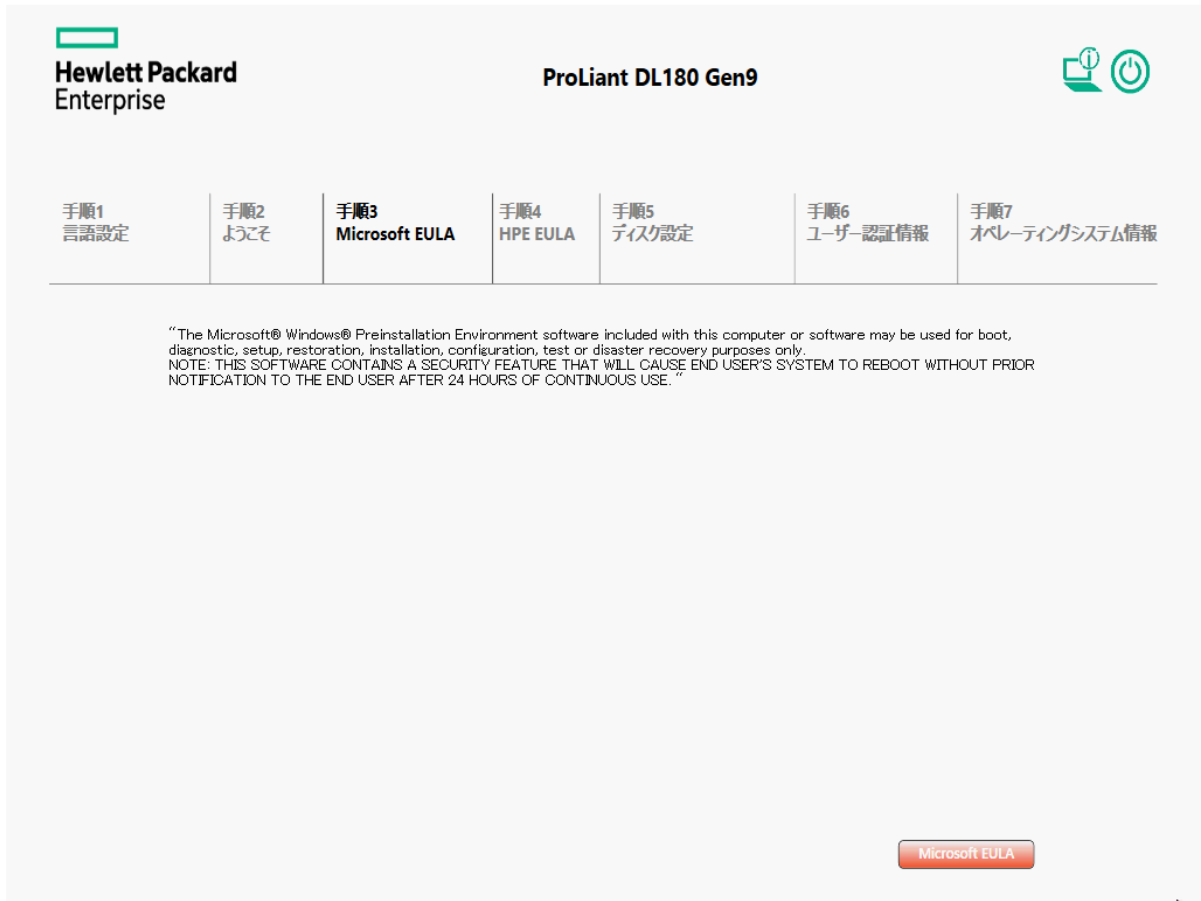


HPE ROK
HPE & Microsoft bring together the world's leading server hardware and software innovations, applications, resources, and support. www.hpe.com/info/ROK

2. Hewlett Packard Enterpriseの初期画面でサービスパックレベルの選択を求められる場合は、適切なサービスパックレベルを選択し、適切なキーを押して続行します。【続行】をクリックします。



3. [Microsoft EULA]をクリックします。



4. [End User License Agreement for Microsoft Windows Pre-installation Environment]を読み、[同意します]を選択してMicrosoft社の使用許諾契約書に同意し、[続行]をクリックします。

Hewlett Packard Enterprise ProLiant DL180 Gen9

手順1 言語設定 | 手順2 ようこそ | **手順3 Microsoft EULA** | 手順4 HPE EULA | 手順5 ディスク設定 | 手順6 ユーザー認証情報 | 手順7 オペレーティングシステム情報

END-USER LICENSE AGREEMENT FOR MICROSOFT WINDOWS PREINSTALLATION ENVIRONMENT

IMPORTANT-READ CAREFULLY: This End-User License Agreement ("EULA") is a legal agreement between you (either an individual or a single entity) and the manufacturer ("Manufacturer") of the special purpose computing device ("SYSTEM") you acquired which includes certain Microsoft software product(s) installed on or for use with the SYSTEM ("SOFTWARE PRODUCT" or "SOFTWARE"). The SOFTWARE includes computer software, the associated media, any printed materials, and any "online" or electronic documentation. Any software provided along with the SOFTWARE PRODUCT that is associated with a separate end-user license agreement is licensed to you under the terms of that license agreement. By installing, copying, downloading, accessing or otherwise using the SOFTWARE, you agree to be bound by the terms of this EULA. If you do not agree to the terms of this EULA, Manufacturer and Microsoft Licensing, Inc. ("MS") are unwilling to license the SOFTWARE to you. In such event, you may not use or copy the SOFTWARE, and you should promptly contact Manufacturer for instructions on return of the unused product(s) for a refund.

SOFTWARE LICENSE
The SOFTWARE is protected by copyright laws and international copyright treaties, as well as other intellectual property laws and treaties. The SOFTWARE is licensed, not sold.

1. GRANT OF LICENSE. This EULA grants you the following rights:
Software: You may only install, use, access, display and run one (1) copy of the SOFTWARE PRODUCT on the SYSTEM only as a boot, diagnostic or disaster recovery tool for the Customer System and not for use as a general purpose operating system.

2. DESCRIPTION OF OTHER RIGHTS AND LIMITATIONS.
- Limitations on Reverse Engineering, Decompilation and Disassembly. You may not reverse engineer, decompile, or disassemble the SOFTWARE, except and only to the extent that such activity is expressly permitted by applicable law notwithstanding this limitation.
- Single System. The SOFTWARE is licensed for use solely with the SYSTEM

同意します 同意しません

戻る 続行

5. [Hewlett Packard Enterpriseエンドユーザー使用許諾契約書]を読み、[同意します]を選択してエンドユーザー使用許諾契約書に同意します。[補助ソフトウェア]をクリックし、Hewlett Packard Enterpriseが使用する、補助ライセンスが適用されるすべての他社製ソフトウェアを選択します。

Hewlett Packard Enterprise ProLiant DL180 Gen9

手順1 言語設定 | 手順2 ようこそ | 手順3 Microsoft EULA | **手順4 HPE EULA** | 手順5 ディスク設定 | 手順6 ユーザー認証情報 | 手順7 オペレーティングシステム情報

HPEエンドユーザー使用許諾契約書

1. **適用の範囲** HPEエンドユーザー使用許諾契約書（以下「本契約」）は付随するソフトウェアの使用（ソフトウェアをインストール、保存、読み込み、実行及び表示 することをいいます。以下同じ）に適用されます。ただし、お客様（一個人又は一法人）とHewlett Packard Enterprise Company又はその関係会社（以下総称して「日本HPE」）との間に別途契約がある場合を除きます。お客様は、ソフトウェアをダウンロード、複製又は使用することにより、本契約に同意したものとみなされます。日本HPEは本契約を英語以外のいくつかの言語に翻訳し、以下のサイトで公開しています。
<http://www.hpe.com/software/SW Licensing>

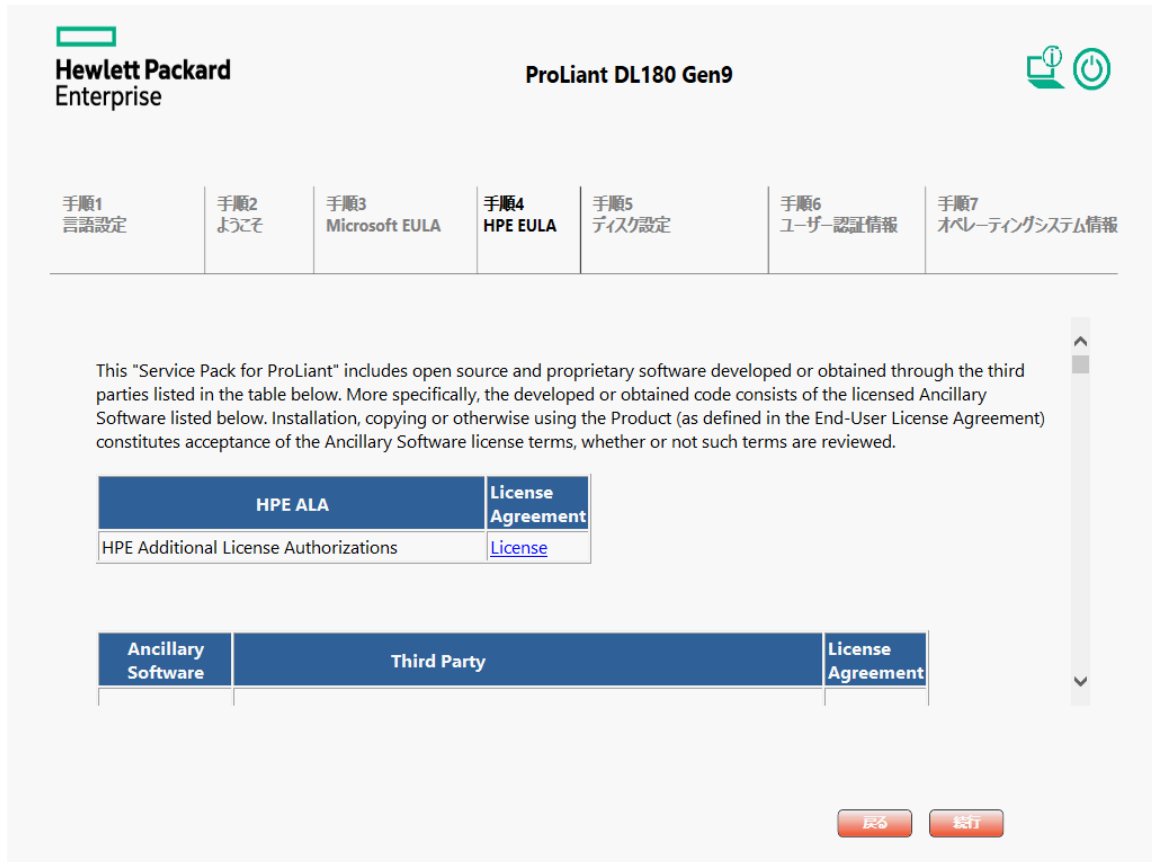
2. **条件** 本契約には、ソフトウェアライセンス情報、追加の使用許諾制限条項、ソフトウェア仕様、公開されている保証、サプライヤーの条件、オープンソースソフトウェアライセンス、それに類似した内容など、ソフトウェアに付随する又は日本HPEが参照する補足 書面（以下「補足書面」）が含まれます。追加の使用許諾制限条項については以下を参照してください。
<http://www.hpe.com/software/SW Licensing>

3. **権限** お客様が別の個人又は法人の代理として本契約に同意する場合、正当な代理権限を有しているものとみなされます。

同意します 同意しません **補助ソフトウェア**

戻る 続行

6. **【続行】**をクリックします。



Hewlett Packard Enterprise ProLiant DL180 Gen9

手順1 言語設定 | 手順2 ようこそ | 手順3 Microsoft EULA | **手順4 HPE EULA** | 手順5 ディスク設定 | 手順6 ユーザー 認証情報 | 手順7 オペレーティングシステム情報

This "Service Pack for ProLiant" includes open source and proprietary software developed or obtained through the third parties listed in the table below. More specifically, the developed or obtained code consists of the licensed Ancillary Software listed below. Installation, copying or otherwise using the Product (as defined in the End-User License Agreement) constitutes acceptance of the Ancillary Software license terms, whether or not such terms are reviewed.

HPE ALA	License Agreement
HPE Additional License Authorizations	License

Ancillary Software	Third Party	License Agreement
--------------------	-------------	-------------------

戻る 続行

7. [OSパーティションサイズ設定]画面で、次のいずれかのオプションを選択して、オペレーティングシステムのパーティションサイズを設定します。

- [Microsoft推奨] このオプションでは、パーティションサイズを、Microsoft社がこのエディションのオペレーティングシステムで推奨するサイズに設定します。
- [カスタム] ディスク容量のオプション。このオプションでは、パーティションサイズを最小パーティションサイズ（20 GB）から最大ディスク容量の間で設定できます。
- [スクロールバー] このオプションは、カスタムディスクサイズオプションの一部です。最小パーティションサイズ（20 GB）から最大ディスク容量の間でスクロールバーをドラッグして、必要なディスクサイズを選択できます。

- [次へ]をクリックします。

Hewlett Packard Enterprise **ProLiant DL180 Gen9**

手順1 言語設定	手順2 ようこそ	手順3 Microsoft EULA	手順4 HPE EULA	手順5 ディスク設定	手順6 ユーザー認証情報	手順7 オペレーティングシステム情報
-------------	-------------	-----------------------	-----------------	---------------	-----------------	-----------------------

OSパーティション サイズ設定

サーバー上のオペレーティングシステム専用のディスク容量を定義するオプションがあります。右側に一覧した2つのボタンはパーティションサイズの種類を指定します。

Microsoft推奨: このオペレーティングシステムのエディションのMicrosoft推奨サイズにパーティションサイズを設定します。

カスタム: 最小および最大値の間のパーティションサイズを設定します。デフォルトの最大値は、[カスタム]オプションの下にMB(メガバイト)単位で表示されます。変更するには、サイズバーを使用するか、メガバイト単位で値を入力します。例えば、10GBのパーティションの場合は、10240と入力してください。

注: ディスクのサイズを設定する場合は、ページング、ハイパーネーション、ダンプファイル、および他の用途で必要になるディスク容量を考慮してください。

Microsoft推奨
61440


カスタム
1429258

8. **[ユーザー認証情報]**ページで、管理者パスワードを入力し、確認のために同じパスワードを再入力します。管理者パスワードは、以下の基準を満たしている必要があります。



- 8文字以上にする必要があります。
- 次の4つのカテゴリのうち少なくとも3つを含める必要があります。
 - 大文字
 - 小文字
 - 数字
 - 記号

詳細なヘルプについては、[\[ここをクリックするとヘルプが表示されます\]](#)リンクをクリックします。

[続行]をクリックします。

 **Hewlett Packard Enterprise**

ProLiant DL180 Gen9


 

手順1 言語設定	手順2 ようこそ	手順3 Microsoft EULA	手順4 HPE EULA	手順5 ディスク設定	手順6 ユーザー認証情報	手順7 オペレーティングシステム情報
-------------	-------------	-----------------------	-----------------	---------------	-----------------	-----------------------

ユーザー設定

パスワード

パスワードの確認

ここをクリックするとヘルプが表示されます。 

9. [マイクロソフトソフトウェアライセンス条項]を読み、[同意します]を選択してMicrosoft社のエンドユーザー使用許諾契約書に同意します。[続行]をクリックします。

The screenshot shows the HP ProLiant DL180 Gen9 setup interface. At the top left is the Hewlett Packard Enterprise logo. At the top center is the model name 'ProLiant DL180 Gen9'. At the top right are icons for help and power. Below the header is a progress bar with seven steps: 手順1 言語設定, 手順2 ようこそ, 手順3 Microsoft EULA, 手順4 HPE EULA, 手順5 ディスク設定, 手順6 ユーザー認証情報, and 手順7 オペレーティングシステム情報. The current step is 手順3. The main content area displays the 'Microsoftオペレーティングシステムエンドユーザー使用許諾契約書' (Microsoft Operating System End User License Agreement). The specific agreement shown is for 'マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項' (Microsoft Software License Terms) for 'MICROSOFT WINDOWS SERVER 2012 R2 ESSENTIALS'. The text explains that the license terms are part of the agreement and lists the software being licensed: '更新プログラム' (Updates) and '追加ソフトウェア' (Additional software). At the bottom, there are two radio buttons: '同意します' (I agree) which is selected, and '同意しません' (I do not agree). There are also '戻る' (Back) and '続行' (Next) buttons.

Hewlett Packard Enterprise ProLiant DL180 Gen9

手順1 言語設定 | 手順2 ようこそ | 手順3 Microsoft EULA | 手順4 HPE EULA | 手順5 ディスク設定 | 手順6 ユーザー認証情報 | 手順7 オペレーティングシステム情報

Microsoftオペレーティングシステムエンドユーザー使用許諾契約書

マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項

MICROSOFT WINDOWS SERVER 2012 R2 ESSENTIALS

本マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項 (以下「本ライセンス条項」といいます) は、お客様と以下の当事者との契約を構成します。

ソフトウェア (以下「本ソフトウェア」といいます) をサーバーと共に頒布するサーバー製造業者 (以下「製造業者」といいます)、または

本ソフトウェアをサーバーと共に頒布するソフトウェア インストール業者 (以下「インストール業者」といいます)

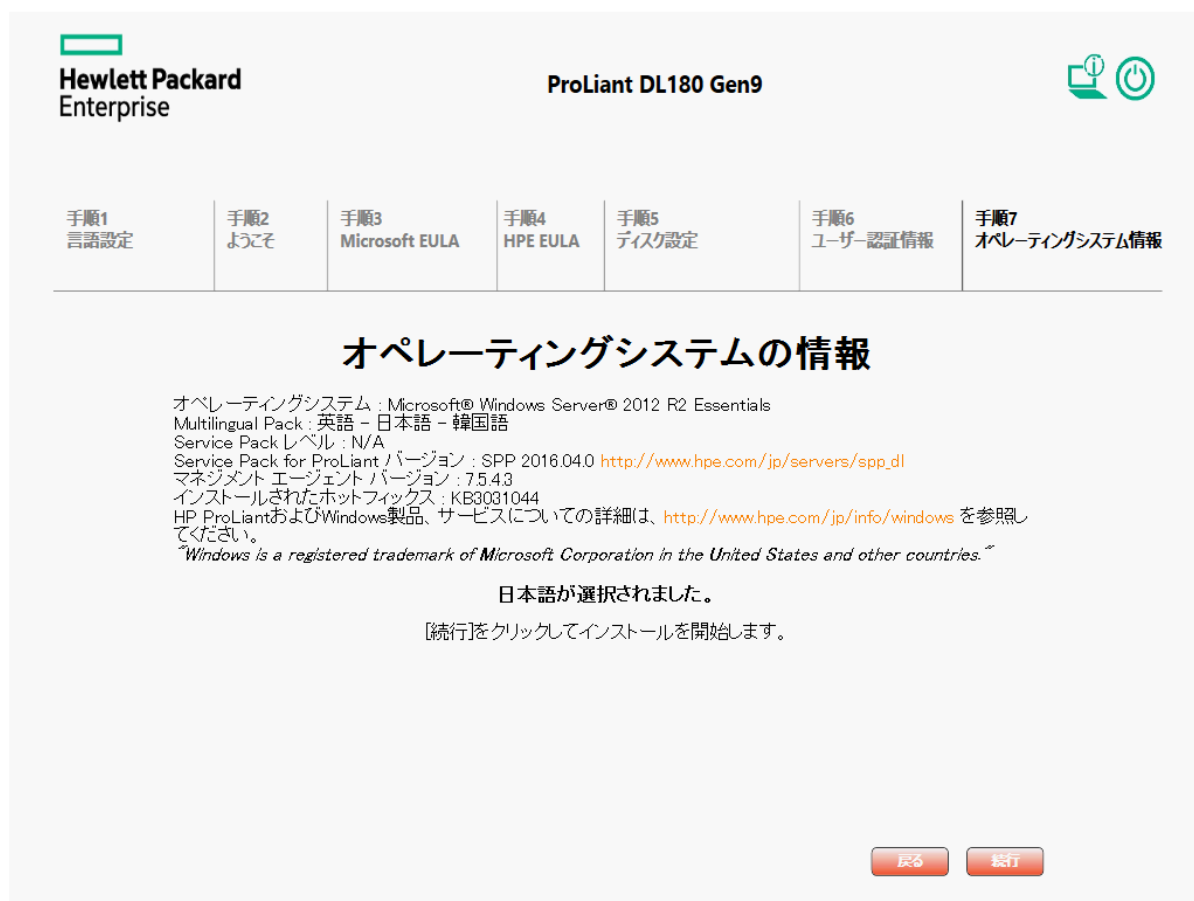
以下のライセンス条項をお読みください。本ライセンス条項は、上記のソフトウェアおよびソフトウェアが記録されたメディア (以下総称して「本ソフトウェア」といいます) に適用されます。また、本ライセンス条項は本ソフトウェアに関連する下記マイクロソフト 製品にも適用されるものとします。

- 更新プログラム
- 追加ソフトウェア

同意します 同意しません

戻る 続行

10. インストールを続行する前に選択したオプションを確認し、**[続行]**をクリックしてインストールプロセスを開始します。



Hewlett Packard Enterprise ProLiant DL180 Gen9

手順1 言語設定	手順2 よろこそ	手順3 Microsoft EULA	手順4 HPE EULA	手順5 ディスク設定	手順6 ユーザー認証情報	手順7 オペレーティングシステム情報
-------------	-------------	-----------------------	-----------------	---------------	-----------------	-----------------------

オペレーティングシステムの情報

オペレーティングシステム : Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Essentials
Multilingual Pack : 英語 - 日本語 - 韓国語
Service Pack レベル : N/A
Service Pack for ProLiant バージョン : SPP 2016.04.0 http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl
Management エージェント バージョン : 7.5.4.3
インストールされたホットフィックス : KB3031044
HP ProLiant および Windows 製品、サービスについての詳細は、<http://www.hpe.com/jp/info/windows> を参照してください。
“Windows is a registered trademark of Microsoft Corporation in the United States and other countries.”

日本語が選択されました。
 [続行] をクリックしてインストールを開始します。

戻る 続行

11. 画面の指示に従います。キーボードまたはマウスからの入力は、システムから指示があるときのみ行ってください。ソフトウェアのインストール中に、実行されている処理を説明する複数のステータス画面が表示されます。



注意: インストールが終了すると、サーバーは再起動を要求します。インストール処理中は、決してサーバーの電源を切らないでください。インストール処理中にサーバーの電源を切ると、インストールが正しく行われず、オペレーティングシステムが再起動しない場合があります。

注: ご使用のオペレーティングシステムが Windows Server 2012 Foundation の場合は、インストールが完了した後に EULA を表示および印刷できます。キーボードの Windows キーを押して、[スタート] ページの任意の位置を右クリックし、[すべてのアプリ]、[プリインストール]、[Microsoft 使用許諾契約書] の順に選択してください。

注: ご使用のオペレーティングシステムが Windows Server 2012 R2 Foundation の場合は、インストールが完了した後に EULA を表示および印刷できます。[スタート] メニューから [↓] ボタンをクリックし、[プリインストール] の下で [プリインストール]、[Microsoft 使用許諾契約書] の順にクリックします。

署名済みドライバー

オペレーティングシステムのインストール中に、署名されていないソフトウェアドライバーに関して注意のメッセージが表示される場合があります。このメッセージは、ドライバーをインストールしようとする際に、「デジタル署名が見つかりません」という注意を示します。メッセージが表示されたら、**[はい]** をクリックして、ドライバーを受け入れ、インストールを続行します。サーバーの再起動を求めるメッセージが表示されたら、**[いいえ]** をクリックします。オペレーティングシステムのインストール完了後に、(<http://www.hpe.com/jp/support> (英語)) にアクセスして、サーバーの機種、モデル名、OS を選択し、次の画面で必要なドライバーを選択した後、言語選択のリストボックスから日本語を選択してダウンロードしてください。

新しいハードウェアの検出ウィザード

オペレーティングシステムのインストール中に新しいハードウェアの検出ウィザードが表示される場合があります。このウィザードが表示されたら、[キャンセル]をクリックします。



重要: オペレーティングシステムのインストール中にドライバーをインストールしないでください。ドライバーのインストールが完了する前にサーバーが自動的に再起動する場合がありますため、この再起動によって、デバイスが正しくインストールされない場合があります。

オペレーティングシステムのインストール後にドライバーをインストールするには、以下の手順に従ってください。

ご使用のオペレーティングシステムがWindows Server 2012 Foundationである場合、キーボードの**Windows**キーを押して[管理ツール]、[コンピューターの管理]の順に選択します。

ご使用のオペレーティングシステムがWindows Server 2012 R2 Foundationである場合、[スタート]をクリックし、[管理ツール]、[コンピューターの管理]の順に選択します。

1. 左の欄で、[デバイスマネージャー]を選択します。
2. 黄色のマークが表示されているコンポーネントを右クリックして、[ドライバーソフトウェアの更新]を選択します。
3. [コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します]オプションをクリックします。
4. テキストボックスに次のパスを入力します。
C:\Drivers
[サブフォルダーを含める]を選択します。
5. [次へ]をクリックします。
6. [閉じる]をクリックして、[新しいハードウェアの検出ウィザード]を終了します。

セットアップ処理が開始します。セットアップに必要な再起動などの処理がすべて完了するまで、セットアップ処理を中断したり、電源を切ったりしないでください。セットアップ処理が完了した後に、サーバーの設定を変更することができます。



重要: システムは最初のログイン後にドライバーのインストールを完了する場合があります。[初期構成タスク]画面では操作を行わないでください。追加のドライバーがロードされると、システムはドライバーのインストールを完了して自動的に再起動します。次にログインメッセージが表示されたら、ログインして新しいオペレーティングシステムを使用できます。

自動設定

セットアップ処理の一部は自動的に設定され、これらの設定画面は表示されません。設定済みの情報を変更する場合は、オペレーティングシステムのオンラインヘルプを参照してください。後で変更しなければならない可能性がある自動設定のパラメーターは、次のとおりです。

- ライセンスモード - デフォルトでは、サーバーのライセンスモードは、各デバイスまたは各ユーザーで5台のデバイスまたは5人のユーザーに設定されています。ライセンスについて詳しくは、オンラインヘルプまたはオペレーティングシステムのドキュメントを参照してください。
- 管理者パスワード - 管理者のパスワードは空白にしてあります。ソフトウェアのインストール完了後、パスワードの変更を指示されたら、パスワードを設定してください。インストール終了後に管理者パスワードを変更する手順については、「Windows Server 2012 Foundation Windows Server 2012 R2 Foundationの管理者パスワードの変更 (20ページの「[Windows Server 2012 FoundationおよびWindows Server 2012 R2 Foundationの管理者パスワードの変更](#)）」を参照してください。
- ダイナミックディスクアップグレード - オペレーティングシステムは、約20GBのパーティションにプリインストールされています。アレイコントローラーでは、論理ドライブサイズがドライブの最大サイズに設定されています。ダイナミックディスクアップグレードをサポートするために、アレイコントローラーの論理ドライブ上に10~15MBの空き容量があります。

注：ダイナミックディスクアップグレードは、オプションです。ダイナミックディスクアップグレードについては、オペレーティングシステムのドキュメントを参照してください。ダイナミックディスクのアップグレード後は、システム修復ディスクをアップデートする必要があります。

インストール後の作業

Microsoft Windows Server 2012 FoundationおよびMicrosoft Windows Server 2012 R2 Foundation

最初のソフトウェアインストールを完了した後に、以下の手順に従ってサーバーにログインしてください。

1. サーバーコンソールで、キーボードの**Ctrl**、**Alt**、**Delete**キーを同時に押して、初期セットアップ時に設定したパスワードを入力します。
2. デフォルトでは、コンピューター名はデフォルト値に設定されています。デフォルト値は必要に応じて変更できます。

Windows Server 2012 FoundationおよびWindows Server 2012 R2 Foundationの管理者パスワードの変更

管理者パスワードは、**Ctrl**、**Alt**、**Delete**キーを同時に押して、**[パスワードの変更]**をクリックするか、または以下の手順で変更できます。

ご使用のオペレーティングシステムがWindows Server 2012 Foundationの場合は、キーボードの**Windows**キーを押して**[管理ツール]**、**[コンピューターの管理]**の順に選択します。

ご使用のオペレーティングシステムがWindows Server 2012 R2 Foundationの場合は、**[スタート]**をクリックし、**[管理ツール]**、**[コンピューターの管理]**の順に選択します。

1. **[システムツール]**ディレクトリから、**[ローカルユーザーとグループ]**ディレクトリを展開します。
2. **[ユーザー]**フォルダーをクリックします。
3. ウィンドウの右側に表示される**[Administrator]**を右クリックして、**[パスワードの設定]**を選択します。この場合、警告メッセージが表示されます。
4. **[続行]**をクリックして続行します。
5. 新しいパスワードフィールドに新しいパスワードを入力し、**[パスワードの確認入力]**フィールドにパスワードを再入力します。
6. **[OK]**をクリックします。
7. **[OK]**をクリックして処理を完了します。



注意：管理者パスワードは絶対に忘れないでください。サーバーの再設定には、このパスワードが必要です。

管理者パスワードの変更について詳しくは、サーバーに付属のオペレーティングシステムのドキュメントを参照してください。

Windows Server 2012 Foundation/Windows Server 2012 R2 Foundationの地域設定の変更

サーバーをデフォルトの地域設定で動作させない場合は、地域設定を変更してください。地域設定は、キーボードの言語を変更し、ユーザーがローカルフォーマットを選択することによって、指定した地域用の時刻、日付、数値、および通貨をソートして、表示できるようにするものです。

Windows Server 2012 Foundation/Windows Server 2012 R2 Foundationの地域設定を変更するには、以下の手順に従ってください。

1. キーボードのWindowsキーを押して、**[コントロールパネル]**を選択します。
2. **[表示方法]**オプションが**[カテゴリ]**に設定されていることを確認します。
3. **[時計、言語、および地域]**オプションをクリックします。
4. **[地域]**をクリックします。
5. **[管理]**タブをクリックします。
6. **[システムロケールの変更]**ボタンをクリックして一覧からロケールを選び、正しいロケールを選択します。
7. **[言語]**をクリックします。
8. **[言語の追加]**をクリックし、必要な言語を選択します。
9. **[追加]**をクリックします。
10. **[コントロールパネル]**を閉じます。

Windows Server 2012 Foundation/Windows Server 2012 R2 Foundation用のMicrosoftインターネットインフォメーションサービス (IIS) のインストール

Windows Server 2012 Foundation/Windows Server 2012 R2 Foundation用のMicrosoftインターネットインフォメーションサービス (IIS) をインストールするには、以下の手順に従ってください。

1. ご使用のオペレーティングシステムがWindows Server 2012 Foundationの場合は、キーボードのWindowsキーを押して**[管理ツール]**、**[サーバーマネージャー]**の順に選択します。
2. ご使用のオペレーティングシステムがWindows Server 2012 R2 Foundationの場合は、**[スタート]**メニューから**[管理ツール]**、**[サーバーマネージャー]**の順に選択します。
3. **[管理]**メニューで、**[役割と機能の追加]**をクリックします。
4. **[開始する前に]**ページで、インストールする役割と機能のために対象サーバーとネットワーク環境の準備が整っていることを確認します。**[次へ]**をクリックします。
5. **[インストールの種類を選択]**ページで、**[役割ベースまたは機能ベースのインストール]**を選択し、**[次へ]**をクリックします。
6. **[対象サーバーの選択]**ページで、サーバープールからサーバーを選択し、**[次へ]**をクリックします。
7. **[サーバーの役割の選択]**ページで、**[Webサーバー (IIS)]**を選択し、**[管理ツールを含める]**を選択して (必要な場合)、**[機能の追加]**をクリックします。
8. **[次へ]**をクリックします。
9. **[次へ]**をクリックします。
10. 情報を参照して、**[次へ]**をクリックします。
11. **[Webサーバー (IIS)]**をインストールするために必要なすべての**[役割サービス]**を選択します。
12. **[次へ]**をクリックします。

[インストールオプションの確認]ページで、**[必要に応じて対象サーバーを自動的に再起動する]**を選択し、**[インストール]**をクリックします。警告メッセージが表示されたら**[はい]**をクリックします。

13. [閉じる]をクリックして、IISインストールウィザードを完了します。
14. インストールが完了したら、[サーバーマネージャー]の左ペインから[すべてのサーバー]リンクをクリックしてインストールを確認し、Webサーバー（IIS）をインストールしたサーバーをサーバーマネージャーの右ペインから選択し、選択したサーバーの[役割と機能]タイルを表示します。

Integrated Lights-Out (iLO) 管理機能のインストール

iLOコントローラーが取り付けられたサーバーを購入した場合は、以下の手順に従ってインストールを完了します。オペレーティングシステムのインストールが完了するまで、デバイスドライバーをインストールしないでください。



重要：Microsoftのハードウェアウィザードは、iLOコントローラーをベースシステムデバイスとして検出します。ハードウェアウィザードはドライバーのインストールが完了するまで、そのデバイスとして表示し続けます。

1. 新しいハードウェアの検出ウィザードウィンドウで、[ドライバーソフトウェアを検索してインストールします]をクリックします。
2. [デバイスに最適なドライバーを検索する]を選択します。
3. [次へ]をクリックします。
4. [場所を指定]を選択し、[フロッピーディスクドライブ]と[CD-ROMドライブ]を削除します。
5. [次へ]をクリックします。
6. テキストボックスに次のパスを入力します。
C:\Drivers
7. [OK]をクリックします。
8. [ドライバーファイルの検索]画面で[次へ]をクリックし、[完了]をクリックします。

ディスクドライブの設定

オペレーティングシステムのインストール時にサーバー上で設定済みのドライブは、オペレーティングシステムがインストールされているプライマリ論理ドライブのみです。プライマリドライブには、パーティションが作成されていないスペースもあります。このパーティションが作成されていないスペースとサーバーに追加した他のディスクドライブを使用するには、ディスクの管理を使用して事前にパーティションを作成してフォーマットしなければなりません。

サーバーと一緒にアレイコントローラーを購入している場合は、「アレイコントローラーの設定」（28ページ）の手順を参照してください。

1. オペレーティングシステムがWindows Server 2012 Foundationの場合は、キーボードのWindowsキーを押して[管理ツール]、[コンピューターの管理]の順にクリックします。
ご使用のオペレーティングシステムがWindows Server 2012 R2 Foundationの場合は、[スタート]メニューから[↓]ボタンをクリックし、[管理ツール]、[コンピューターの管理]の順にクリックします。
[記憶域]ディレクトリを展開して、[ディスクの管理]を選択します。ウィンドウの右側にディスクと論理ドライブの情報が表示されます。
2. [コンピューターの管理]ウィンドウの右側下に、ACU/HPE SSAが作成した新しい論理ドライブが未割り当て領域として表示されない場合は、[操作]メニュー、[ディスクの再スキャン]の順にクリックします。
3. 右側下のパネルで、[ディスク1]を右クリックして、[ディスクの初期化]を選択します。
4. [ディスクの初期化]画面で、[ディスク1]を選択して[OK]をクリックします。ディスクは、ベーシックディスクとして識別されます。
5. ディスク容量が示され「未割り当て」のラベルが付けられているボックスを右クリックし、[新しいボリューム（シンプル、スパン、ストライプ、ミラー、RAID-5）]を選択します。
6. [新しいパーティションウィザード]画面で、[次へ]をクリックします。
7. 最大ディスク容量を使用する場合は、[次へ]をクリックします。または[パーティションサイズの指定]画面で、パーティションサイズを入力します。

8. [ドライブ文字またはパスの割り当て]画面で、[次へ]をクリックしてデフォルトで割り当てられたドライブ文字を受け入れます。[パーティションのフォーマット]画面が表示されます。
9. ドライブをフォーマットするには、適切なファイルシステムフォーマット（デフォルトはNTFS）、[アロケーションユニットサイズ]を選択します。
ボリュームラベルを入力するか、またはデフォルトのラベルを受け入れます。
10. 必要に応じて、[クイックフォーマットする]および[ファイルとフォルダーの圧縮を有効にする]を選択します。
11. ドライブをフォーマットしない場合は、[このパーティションをフォーマットしない]を選択します。
12. [次へ]をクリックします。
13. [新しいパーティションウィザード]画面で、[完了]をクリックします。フォーマットが完了した時点で、パーティションは選択したファイルシステムにフォーマットされ、[正常]のラベルが付けられます。

新しいハードディスクドライブの設定方法およびダイナミックディスクへのアップグレード方法については、サーバーに付属のオペレーティングシステムのドキュメントを参照してください。

追加のページファイルの作成

追加のメモリまたはソフトウェアアプリケーションをサーバーにインストールする際に、C:ドライブの空き容量が残り少ないことを示すエラーメッセージがイベントログに表示されることがあります。この問題を解消するには、C:ドライブにあるアプリケーションを他のパーティションに移動させるか、ページファイルを作成します。サーバーのメモリの総量をサポートするために、別のパーティションにページファイルを作成すると、最も効果的に問題を解消できます。

追加のページファイルを作成したら、起動パーティションにあるページファイルを、サーバーのメモリの総量と同じに設定します。ページファイルの作成については、ヘルプファイルを参照してください。ご使用のオペレーティングシステムがWindows Server 2012 Foundationである場合は、キーボードのWindowsキーを押して、[スタート]ページの任意の場所を右クリックし、[すべてのアプリ]、[Windowsシステムツール]、[ヘルプとサポート]の順にクリックしてください。

ご使用のオペレーティングシステムがWindows Server 2012 R2 Foundationの場合は、[スタート]メニューから[↓]ボタンをクリックし、[Windowsシステム]の下で[Windowsシステム]、[ヘルプとサポート]の順にクリックします。

テープドライブのインストール

テープドライブを購入してサーバーで使用する場合、テープドライブのサポートドライバーを手動でインストールしなければならないことがあります。

ご使用のオペレーティングシステムがWindows Server 2012 Foundationの場合は、キーボードのWindowsキーを押して[管理ツール]、[コンピューターの管理]、[デバイスマネージャー]の順に選択します。

ご使用のオペレーティングシステムがWindows Server 2012 R2 Foundationの場合は、[スタート]メニューから[管理ツール]、[コンピューターの管理]、[デバイスマネージャー]の順にクリックします。

1. テープデバイスを選択します。適切なドライバーをインストールするまで、テープドライブは、その他のデバイスカテゴリの疑問符(?) アイコンの下に示されます。疑問符は、認識されていないデバイスを示します。
2. テープデバイスを右クリックして、[プロパティ]を選択します。
3. [ドライバー]タブをクリックして、[ドライバーの更新]をクリックします。[ハードウェアの更新ウィザード]が起動します。
4. [次へ]をクリックします。
5. [一覧または特定の場所からインストールする]を選択します。
6. [次へ]をクリックします。
7. [次の場所で最適のドライバーを検索する]を選択します。
8. [次へ]をクリックします。
9. [次の場所を含める]フィールドに次のパスを入力します。C:\DRIVERS

10. [OK]をクリックします。ドライバーの検索結果に、適切なデバイスが表示されます。
11. 間違っただけが表示される場合は、[戻る]をクリックして、正しいデバイスを選択しなおします。
12. [次へ]をクリックして、ドライバーをインストールします。
13. [閉じる]ボタンをクリックして[コンピューターの管理]画面に戻ります。

以上でテープドライバーのインストールは完了です。これで[コンピューターの管理]画面の[テープドライブ]カテゴリにテープデバイスが表示されます。

イベントログエラー

ProLiantインストールユーティリティを終了した後に、特定のコントローラードライバーに関してイベントログエラーメッセージが表示される場合があります。これらのメッセージはこの時点で予測されているもので、サーバーまたはオペレーティングシステムの性能には影響しません。表示される可能性のあるメッセージは、次のとおりです。

- The device, \Device\scsi\adpml60ml, did not respond within the timeout period.
- The device, \Device\scsi\cpqfcalm1, did not respond within the timeout period.
- Unable to read IO control information from NBT device. Refer to article #Q257760 on the Microsoft® website (<http://www.microsoft.com>).

サーバーのバックアップ

ソフトウェアのインストールが完了してサーバーが動作可能になったら、テープバックアップシステムと認定されているテープバックアップソフトウェアを使用して、サーバーのバックアップを行ってください。

ネットワークプロトコルの設定

TCP/IP、Wbem Provider、およびAMSは自動的にインストールされます。サーバー用のマネジメントエージェントがSystems Insight Managerと通信するには、TCP/IP、Wbem Provider、およびAMSが必要です。サーバー用のマネジメントエージェントがSystems Insight Managerと通信するには、TCP/IPが必要です。Microsoft Windows Server 2012 FoundationおよびMicrosoft Windows Server 2012 R2 FoundationオペレーティングシステムではTCP/IPを有効にする必要があります。

Microsoft Windows Server 2012 Foundation/Microsoft Windows Server 2012 R2 Foundationのリモートアクセスサーバーのセットアップ

Microsoft® Windows Server 2012 Foundation/ Microsoft® Windows Server 2012 R2用リモートアクセスサーバー (RAS) を設定するには、以下の手順に従ってください。

ご使用のオペレーティングシステムがWindows Server 2012の場合は、**Windows**キーを押して[コントロールパネル]を選択します。

ご使用のオペレーティングシステムがWindows Server 2012 R2の場合は、[スタート]ボタンを押して[コントロールパネル]を選択します。

1. [ネットワークとインターネット]をクリックします。
2. [ネットワークと共有センター]をクリックします。
3. [新しい接続またはネットワークのセットアップ]をクリックします。
4. 画面の指示に従ってセットアップを進めてください。

必要なネットワーク接続パラメーターについて詳しくは、サーバーに付属のオペレーティングシステムのドキュメントを参照してください。

Java Virtual Machineのインストール

一部のWebページは、Internet Explorer 6.0以降を使用して完全に、そして適切に表示させるために、Java Virtual Machine (<http://www.java.com>) をダウンロードおよびインストールする必要がある場合があります。たとえば、System Management HomepageからWebエージェントヘルプを表示させる場合、Java™ Virtual Machineがインストールされていないと、[ヘルプ]画面の左カラムに表示されるべきテキストが正しく表示されません。

BitLockerドライブ暗号化の有効化

BitLockerドライブ暗号化をWindows® Server 2012 Foundation/Windows® Server 2012 R2 Foundationにインストールするには、以下の手順に従ってください。

1. サーバーマネージャーからBitLockerドライブ暗号化機能を追加して、サーバーを再起動します。
2. ご使用のオペレーティングシステムがWindows Server 2012 Foundation/Windows Server 2012 R2 Foundationである場合、オペレーティングシステムの起動後、管理者としてログインします。画面の右端からスワイプし、[検索]をタップ（または、マウスを使用する場合は画面の右上隅にポイントし、マウスポインターを下に移動して[検索]をクリック）し、検索ボックスにBitLockerと入力し、[設定]をタップまたはクリックしてから、**[BitLockerドライブ暗号化]**をタップするかクリックして**[BitLockerドライブ暗号化]**を開きます。
3. **[ユーザーアカウント制御]**ダイアログボックスが表示された場合は、内容を確認して**[続行]**をクリックします。**[BitLockerドライブ暗号化]**ページが表示されます。
4. 次のいずれかの警告メッセージが表示されます。
 - o BitLocker encryption might have a performance impact on your server. If your TPM is not initialized, the TPM Security Hardware wizard appears. Follow the directions to initialize the TPM. You must restart or shut down your computer for the changes to take place.
 - o This device cannot use a Trusted Platform Module. Your administrator must set the "Allow BitLocker without a compatible TPM" option in the "Require additional authentication at startup" policy for OS volumes.

2つ目のエラーメッセージで特定される問題を解決するには、以下の操作を実行します。

- a. **Windows + [R]**キーを押して、**[ファイル名を指定して実行]**コマンドにアクセスします。
 - b. 「MMC」と入力します。
 - c. **[ファイル]**、**[スナップインの追加と削除]**の順に選択します。
 - d. 利用できるスナップインのリストから**[グループポリシーオブジェクトエディター]**を選択し、**[追加]**をクリックして、スナップインを選択します。
 - e. **[ローカルコンピューター]**が選択されていることを確認して、**[完了]**をクリックします。
 - f. **[OK]**をクリックします。
 - g. **[ローカルコンピューターポリシー]**、**[コンピューターの構成]**、**[管理用テンプレート]**、**[Windowsコンポーネント]**、**[BitLockerドライブ暗号化]**、**[オペレーティングシステムのドライブ]**の順に展開し、**[スタートアップ時に追加の認証を要求する]**ポリシーを選択します。ポリシーを有効にします。
 - h. **[Apply]**、**[OK]**をクリックします。
 - i. パスを閉じます。
 - j. **[ファイル]**、**[終了]**の順にクリックします（必要に応じてMMCコンソールを保存してください）。
5. コンピューターを再起動またはシャットダウンして変更を有効にし、手順2を繰り返します。
 6. **[BitLockerドライブ暗号化]**ページで、スタートアップ時にドライブのロックを解除する方法を次のいずれかから選択します。
 - o USBフラッシュドライブを挿入する
 - o パスワードを入力する
 7. **[How do you want to back up your recovery key]**ページに、次のオプションが表示されます。
 - o **[Save to a USB flash drive]** - パスワードをUSBフラッシュドライブに保存します。

- [Save to a file] - パスワードをネットワークドライブ上または他の場所にあるファイルに保存します。
- [Print the recovery key] - パスワードを印刷します。

1つまたは複数のオプションを使用して、リカバリパスワードを保存します。各オプションでは、オプションを選択してウィザードの手順に従い、リカバリパスワードの保存場所を設定するか、印刷してください。

8. リカバリパスワードの保存が終了したら、[次へ]をクリックします。[Encrypt the selected disk volume]ページが表示されます。



重要: 暗号化されたディスクを他のコンピューターに移動した場合や、システムのスタートアップ情報が変更された場合に、リカバリパスワードが必要になります。このパスワードは非常に重要であるため、Hewlett Packard Enterpriseでは、複数のコピーを作成してコンピューターから離れた安全な場所に保管し、データに確実にアクセスできるようにしておくことを推奨しています。BitLockerがロック状態になった場合、ボリューム上の暗号化されたデータのロックを解除するには、リカバリパスワードが必要です。このリカバリパスワードは、特定のBitLocker暗号化にのみ有効なものです。他のBitLocker暗号化セッションで暗号化されたデータの復元には使用できません。

9. [Choose how much of your drive to encrypt]ページで、[Disk Encryption]オプションを選択し、[次へ]をクリックします。
10. [BitLockerシステムの実行]チェックボックスが選択されていることを確認して、[続行]をクリックします。
11. [今すぐ再起動する]をクリックします。コンピューターが再起動して、そのコンピューターがBitLockerに対応しており、暗号化を開始できるかどうかをBitLockerが検証します。
 - 暗号化を開始できない場合は、問題点を警告するエラーメッセージが表示されます。
 - 暗号化を開始できる場合は、[暗号化しています]ステータスバーが表示されます。画面下部の通知エリアにあるBitLocker Drive Encryptionアイコンにマウスカーソルを移動すると、ディスクボリューム暗号化の進捗状況を監視できます。

この手順が完了すると、オペレーティングシステムのボリュームが暗号化され、そのボリュームにのみ有効なリカバリパスワードが作成されます。次のログイン時には、目に見える変更はありません。TPMが変更された場合やアクセスできない場合、キーシステムファイルが変更された場合、またはオペレーティングシステムではなく製品CDやDVDからコンピューターを起動しようとした場合に、コンピューターはリカバリモードに切り替わり、リカバリパスワードが入力されるまで解除されません。

BitLockerについて詳しくは、Microsoft社のWebサイト (<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/hh831713.aspx>) を参照してください。

VMware仮想マシンでのインストール

1. Microsoft Windows Server® 2012 FoundationまたはMicrosoft Windows Server® 2012 R2 FoundationオペレーティングシステムへのVMwareのインストールと構成については、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト <http://www.hpe.com/info/VMware> (英語) にあるVMwareのドキュメントを参照してください。
2. 仮想マシンを作成したら、作成したパスに移動し、<VM guest name>.vmxファイルをメモ帳で開いて次の行を追加します。


```
smbios.ReflectHost = "TRUE"
```
3. ファイルを保存して終了します。
4. Hewlett Packard EnterpriseブランドのWindows® OSメディアを作成した仮想マシンにマッピングし、OSのインストールを開始します。

インストール後の作業（HPE ProLiantサーバーのみ）

Webベースマネジメントユーティリティ（HPE System Management Homepage）

Webベースマネジメントユーティリティにログインするには、ローカル管理者アカウントおよびパスワードを使用してください。アカウントのログイン名は、次のフォーマットで入力する必要があります。

domain name\login name

マネジメントページを適切に表示させるため、より高い表示解像度に変更しなければならない場合があります。

HPEマネジメントエージェントのインストール



重要：セキュリティ上の理由により、パスワードを設定するには、64ビットの暗号化されたパスワード証明書を最初に取得してください。パスワード証明書は、Systems Insight Managerの証明書サーバーから取得できます。証明書を設定して取得する方法については、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト <http://www.hpe.com/info/IMAagents-manuals>にある『Insightマネジメントエージェントユーザーガイド』を参照してください。

1. 次のいずれかを実行します。
 - ご使用のオペレーティングシステムがMicrosoft Windows Server 2012 Foundationである場合は、キーボードのWindowsキーを押して、[スタート]ページの任意の場所を右クリックし、[すべてのアプリ]、[プリインストール]、[Service Pack for ProLiant]の順にクリックします。
 - ご使用のオペレーティングシステムがMicrosoft Windows Server 2012 R2 Foundationである場合は、[スタート]メニューから[↓]ボタンをクリックし、[すべてのアプリ]、[プリインストール]、[Service Pack for ProLiant]の順に選択します。
2. セットアッププログラムが起動したら、画面上の指示に従ってください。インストール時にユーザーの認証情報の入力が必要となる場合があります。

マネジメントエージェントについては、『Insightマネジメントエージェントユーザーガイド』を参照してください。

ネットワークチーミングおよび設定ユーティリティのインストール

ネットワークコンフィグレーションユーティリティを使用すると、複数の同一のNICをチーム化することができます。ネットワークコンフィグレーションユーティリティをインストールするには、HPE Software Update Managerを実行する必要があります。

ネットワークコンフィグレーションユーティリティソフトウェアのインストールプロセス中に、the CPQTEAM.DLL file is needed.というメッセージが表示される場合があります。デフォルトのパスがメッセージボックスに表示されます。[OK]をクリックしてパスを受け入れ、インストールを続行します。

HP Smart Update Manager（HP SUM）の使用

オペレーティングシステム用のHP SUMは、サーバーソフトウェアがインストールされるときに自動的にインストールされます。このソフトウェアには、ProLiantサーバー製品の特定の機能を活用するデバイスドライバーとユー

ティリティが含まれています。これらのドライバーは、ProLiantハードウェアでのみ使用できます。詳しくは、ディスクドライブのC:\HPSumディレクトリにある、オペレーティングシステム用のSPPのヘルプを参照してください。

HP SUMを起動するには、以下の手順に従ってください。

1. 次のいずれかを実行します。
 - ご使用のオペレーティングシステムがMicrosoft Windows Server 2012 Foundationである場合は、キーボードのWindowsキーを押して、[スタート]ページの任意の場所を右クリックし、[すべてのアプリ]、[プリインストール]、[Service Pack for ProLiant]の順にクリックします。
 - ご使用のオペレーティングシステムがMicrosoft Windows Server 2012 R2 Foundationである場合は、[スタート]メニューから[↓]ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]、[プリインストール]、[Service Pack for ProLiant]の順に選択します。
2. セットアッププログラムが起動したら、画面上の指示に従ってください。
インストール時にユーザーの認証情報の入力が必要となる場合があります。

HP SUMを手動で起動するには、以下の手順に従ってください。

1. HP SUMを格納するディレクトリに移動します。
2. [HPSum.bat] ファイルを右クリックし、[管理者として実行]をクリックします。

詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト<http://www.hpe.com/info/hpsum>（英語）にある『HP Smart Update Managerユーザーガイド』を参照してください。

アレイコントローラーの設定

サーバーと一緒にアレイコントローラーを購入した場合は、オンラインACU/HPE SSAを実行して、残りの物理ドライブを使用できるようにセットアップしてください。



重要：ACUを実行するには、Microsoft® Internet Explorerが必要です。Internet Explorerは、アレイコントローラーとのインターフェイスとして使用されます。ページを適切に表示するには、サーバーのIPアドレスを信頼済みサイトの一覧に含める必要があります。設定を有効にするには、IPアドレスを信頼済みサイトの一覧に追加した後に、Internet Explorerを再起動する必要があります。

1. 次のいずれかを実行します。
 - ご使用のオペレーティングシステムがMicrosoft Windows Server 2012 Foundationである場合は、キーボードのWindowsキーを押して、[スタート]ページの任意の場所を右クリックし、[すべてのアプリ]、[HPシステムツール]、[HPE Smart Storage Administrator]の順にクリックします。
 - ご使用のオペレーティングシステムがWindows Server 2012 R2 Foundationの場合は、[スタート]メニューから[↓]ボタンをクリックし、[すべてのアプリ]、[HPシステムツール]、[HPE Smart Storage Administrator]の順に選択します。
2. 残りの物理ドライブを論理ドライブに設定します。ディスクの管理を実行して、追加のドライブスペースのパーティション作成とフォーマットを行います。

ACU/HPESSAの使用について詳しくは、HPE SSAのWebサイト（<http://www.hpe.com/servers/ssa>（英語））を参照してください。

マネジメントエージェントの使用

マネジメントエージェントforサーバーは、セットアップ処理中にインストールされます。マネジメントエージェントについて詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト<http://www.hpe.com/info/IMAagents-manuals>にある『Insightマネジメントエージェントユーザーガイド』を参照してください。

トラブルシューティング

オペレーティングシステムの再インストール

サーバーのオペレーティングシステムが壊れた場合は、Intelligent ProvisioningまたはSmartStart DVD、Hewlett Packard Enterprise Management DVD、およびHewlett Packard EnterpriseブランドバージョンのMicrosoft® Windows®オペレーティングシステムDVDを使用して再インストールしてください。

オペレーティングシステムを再インストールするには、SmartStart DVDまたはIntelligent Provisioningを使用してサーバーを起動し、画面に表示されるインストールの指示に従ってください。



注意： SmartStart DVDから起動すると、ディスクドライブの現在のディスクパーティションとデータが永久に失われます。

SmartStartによるインストールについては、サーバーに付属のProLiant Essentials Foundation Packを参照してください。

また、Hewlett Packard EnterpriseブランドバージョンのMicrosoft® Windows®オペレーティングシステムDVDからサーバーを起動することで、オペレーティングシステムを再インストールできます。インストールプロセス中に、該当するストレージドライバーを入手するために、**F6**キーを押すように求めるメッセージが表示される場合があります。その場合、ストレージドライバーはSmartStart DVDまたはHewlett Packard EnterpriseのWebサイト <http://www.hpe.com/jp/support>から入手できます。

サポートと他のリソース

ご連絡の前にご用意いただく情報

Hewlett Packard Enterpriseにご連絡いただく前に、次の情報をお手元にご用意ください。

- Active Health Systemログ（HPE ProLiant Gen8以降の製品の場合）
障害が検出される前の7日間のActive Health Systemログをダウンロードして使用できます。詳しくは、『HPE iLO 4ユーザーガイド』または『HPE Intelligent Provisioningユーザーガイド』（Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト<http://www.hpe.com/info/ilo/docs>）を参照してください。
- Onboard Administrator SHOW ALLレポート（HPE BladeSystem製品のみが対象）
Onboard Administrator SHOW ALLレポートの取得方法について詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト<http://www.hpe.com/info/OAlog>（英語）を参照してください。
- テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- 製品のシリアル番号
- 製品のモデル名と製品番号
- 製品の識別番号
- 該当するエラーメッセージ
- 追加したボードおよびハードウェア
- 他社製のハードウェアまたはソフトウェア
- オペレーティングシステムの種類とリビジョンレベル

Hewlett Packard Enterpriseの連絡先

米国および世界各地の連絡先については、Contact Hewlett Packard Enterprise Webサイト<http://www.hpe.com/info/assistance>を参照してください。

米国では、次の方法をご利用ください。

- Hewlett Packard Enterpriseに電話で問い合わせる場合は、1-800-334-5144にお電話ください。品質向上のため、お電話の内容を録音またはモニターさせていただくことがあります。
- Care Pack（サービスアップグレード）を購入されている場合は、サポートおよびドライバーのWebサイト<http://www.hpe.com/ip/support>を参照してください。Webサイトで問題を解決できない場合は、1-800-633-3600まで電話でお問い合わせください。Care Packについて詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト（<http://www.hpe.com/info/carepackservices>）を参照してください。

カスタマーセルフリペア

カスタマーセルフリペアとは、どのようなサービスでしょうか。

Hewlett Packard Enterpriseのカスタマーセルフリペアは、保証または契約のもとで最も迅速なサービスを提供します。Hewlett Packard Enterpriseが交換用の部品を直接お客様に出荷し、お客様が部品を交換します。このプログラムでは、お客様がご自分の都合の良いときに部品を交換できます。

この便利で合理的なプログラムには、以下の利点があります。

- Hewlett Packard Enterpriseのサポート担当者が、システムの問題を解決するために交換部品が必要かどうかを診断し、評価します。また、お客様による部品交換が可能かどうかを判断します。
- お客様による交換が可能な部品について詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト <http://www.hpe.com/support/hpesc>から、メンテナンス&サービスガイドを参照してください。

Hewlett Packard Enterpriseカスタマーサポート

Hewlett Packard Enterpriseカスタマーサポートは、ソフトウェアサポート、サポートプラスソフトウェアサポート、および統合ハードウェアおよびソフトウェアサポートサービスを提供します。詳しくは以下のリンクを参照してください。

- ソフトウェアサポートサービス (<http://www8.hp.com/jp/ja/business-services/index.html>) – オペレーティングシステムおよび幅広いMicrosoft®アプリケーションには、3つのインシデントおよび平日営業時間内の標準電話サポートが含まれます。
- ハードウェアサポート (<http://www.hpe.com/services/insight-ja>) – サーバー向けに一連のハードウェアサポートサービスが利用可能です。
- サポートプラス (<http://www.hpe.com/services/insight-ja>) – サーバー向けに1年の統合ハードウェアおよびソフトウェアサポートが含まれます。
- 90日間の使用開始時のソフトウェア電話サポート – ProLiantサーバー向けに、Hewlett Packard Enterpriseでプリインストールされたサードパーティ製ソフトウェアのテクニカルアドバイスサポート（インストールアシスタンスを含む）が、購入後90日間、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト (<http://www.hpe.com>) または電話で利用可能です。



重要: 出荷されたHewlett Packard Enterpriseのハードウェアおよびソフトウェア構成のみがサポートされます。

頭字語と略語

ACU

Array Configuration Utility。アレイコンフィグレーションユーティリティ

AMS

agentless management services。エージェントレスマネジメントサービス

CAL

client access license。クライアントアクセスライセンス

COA

Certificate of Authenticity。出所に関する証明書

CPQTEAM

Network Teaming and Configuration。ネットワークチームングおよび設定

EFI

extensible firmware interface

HP SUM

HP Software Update Manager

HPE SSA

HPE Smart Storage Administrator

IIS

Internet Information Services

iLO

Integrated Lights-Out

MMC

Microsoft Management Console。Microsoftマネジメントコンソール

NTFS

NT File System

PSP

HP ProLiant Support Pack

RAS

remote access service。リモートアクセスサービス

SPP

Service Pack for ProLiant

TPM

Trusted Platform Module

UEFI

Unified Extensible Firmware Interface